

第7号様式 (規程別表第1 第2項第2号エ関係)



出張報告書

令和8年2月26日

尼崎市議会議長 様

会派名 公明党
 代表者氏名 福島 さとり
 出張者氏名 水藤 正明

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

- 出張期間 令和8年2月22日から令和8年2月22日まで
- 結果の概要

用務先 大和大学	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 第二回不登校小児精神発達支援学会 『子どもが本当に思っていること』
添付書類 ■出張報告書1部	備考

- 3 届出事項の変更等 なし あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

精算額は、令和8年2月17日届け出た額 (560円) と同一額である。

届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

	月	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

出張報告書

日 時：2026年2月22日

視察件名：第二回不登校小児精神発達支援学会

会 場：大和大学（大阪府吹田市片山町2丁目5-1）

基調講演：「子どもが本当に思っていること」

（講師：河合佐和氏・児童精神科医）

出張者： 水 藤 正 明

報告者： 水 藤 正 明

▼参加の目的

近年、不登校、小児精神や発達特性のある子どもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、子どもの内面理解を精神医療・教育・地域等の専門家の知見や実践事例を通して学ぶことを目的として聴講した。

▼講演の概要

講演では、「発達障害」という診断名にとどまらず、子ども一人ひとりの特性を「発達ユニーク」と捉える視点が示された。子どもの行動や言葉の背景には、本人なりの不安や願いがあり、それを大人がどう受け止めるかが、子どもの安心感や自己肯定感に大きく影響することが、具体的な事例とともに語られた。講師は、YouTubeチャンネル「幸せの処方箋」等で発信している内容とも重ねながら、子どもの心の声に耳を傾ける姿勢の重要性を強調した。

▼所感

講演では、子どもが心の中で抱きやすい思いとして、次のような声で紹介された。子どもは「自分のせいで親がけんかをしているのではないか」と感じ、自責の念を抱きやすいこと、その際、大人が小さな声でゆっくり話すだけでも安心につながることを示された。また、何度も同じ注意をされたり、ため息をつかれたりすることが、子どもの心を追い詰めてしまう場合があることも指摘された。

また、「そんなに自分は心配されているのか」という感覚から、過度な指示や干渉を負担に感じる子どもも多く、子どもは心配される以上に「信じてもらうこと」を求めていることが語られ、親や大人の不安と、子ども自身が向き合うべき課題との境界線を意識することの大切さが印象に残った。

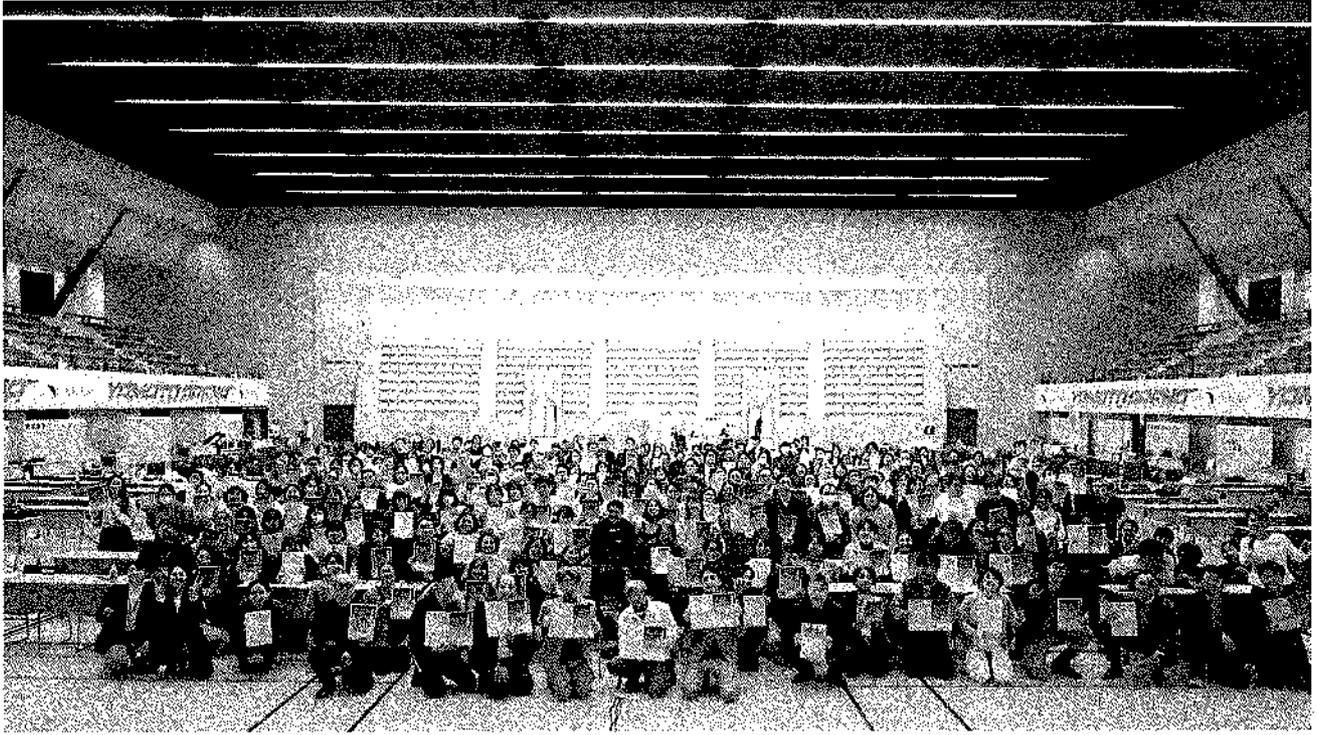
さらに、「ちゃんと見て、聞いて、信じてほしい」という声の裏側には、不安の強い大人ほど、待てず、気づけず、結果として子どものサインを見逃してしまう現実があることも示された。加えて、「あなたのため」という言葉は、時に愛情ではなく支配やコントロールになってしまう危うさや、親の期待が無意識に子どもを苦しめることについても問題提起がなされた。

これらを通じて、子どもが本当に求めているのは、心からの安らぎであり、怒らないで「ただそばで笑っていてくれるだけでいい」との心の声を理解することであり、まさに不登校対策・支援の真理に迫った視点であった。

支援者や大人の関わり方については、「命は大切にしなさい」と説教する姿勢が、子どもにとって「悪い聞き手」になり得るとの言及があった。一方で、良い聞き手とは、わからないことを恐れず、無力さを否定せず、沈黙が続いてもなお、「一緒に悩み、共に考える」姿勢を持つ存在であるとされた。それは、ネガティブな感情を否定せず、「わからないことはわからない」と正直に伝え、子どもが主体的に話せる雰囲気づくりが信頼関係の基盤になるとの示唆に目を開かれる思いだった。

本講演を通じて、困難を抱える子どもや家庭には適切が最優先されるべきであることを改めて認識した。子どもたちがその子らしく生きられる社会を実現するためには、学校、家庭、地域、行政がそれぞれの立場で「こどもの安心」を支えるしくみを強固にすることが不可欠である。

本市においても、不登校児童生徒への理解促進、家庭支援の充実を図る上で、本講演の内容を施策や支援の実現に生かしていきたい。



第二回 不登校小児精神発達支援学会@大和大学